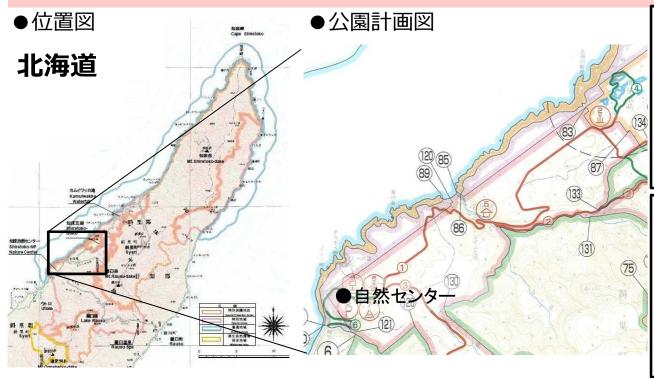
知床国立公園 ホロベツ・岩尾別線 道路(歩道)



路線距離:12.0km

執行者(予定者):斜里町

第2種特別地域(町有地)







○トドマツ、ミズナラ等からなる針広混交林とクマイザサ、ハンゴンソウ等からなる草原となっている。周辺は旧開拓跡地で、現在は開拓以前の森林を復元する「しれとこ100平方メートル運動」の対象地でもある。開拓道跡地を遊歩道として整備しており、年間を通じて散策利用がある。

ホロベツ・岩尾別線道路(歩道) 決定区域図



事業規模

路線延長:12.0km





○しれとこ100平方メートル運動による取得地にある開拓道跡地を再整備し、森林再生活動を見学できる遊歩道を設置している。そのため、現在利用されている歩道の延長を決定する。

既存施設の把握(歩道・標識)

執行者予定者:斜里町

● 開拓道跡地を再整備した歩道があり、その歩道の利用者の誘導のために標識が設置されている。





歩道標識

釧路湿原国立公園 北斗博物展示施設



区域面積:11ha

執行者 :環境省

第2種特別地域特別地域(環境省)

●位置図

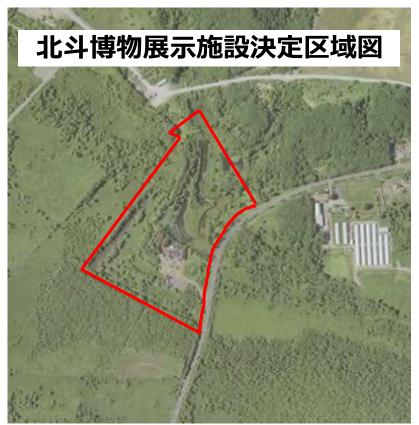
●公園計画図







○釧路湿原国立公園の入り口部分にあたり、良好な低層湿原が広がるほか、キタサンショウウオやタンチョウをはじめとする貴重な野生生物の生息地となっており、平成5年には釧路湿原野生生物保護センター(環境省)が設置され、シマフクロウやオオワシ、オジロワシ等の希少鳥類の保全・普及啓発に努めている。



事業規模

区域面積:11ha





○釧路湿原野生生物保護センター(環境省)にて、北海道東部の野生生物の保全・普及啓発を図っているほか、シマフクロウやオオワシ・オジロワシの保護 増殖事業に基づく傷病鳥獣のリハビリ施設が設置されている。

既存施設の把握(博物展示施設、駐車場)

執行者:環境省

● 釧路湿原野生生物保護センターとして、展示施設、駐車場、傷病鳥獣リハビ リケージ等が整備されている。(環境省)







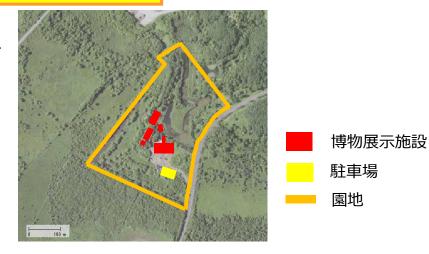
展示施設

駐車場

傷病鳥獣リハビリケージ

付帯施設の配置

● 釧路湿原野生生物保護センターとして、 展示施設及び傷病鳥獣リハビリケージ が主たる施設であり、付帯して園地及 び駐車場を把握する。(環境省)



磐梯朝日国立公園 翁島宿舎



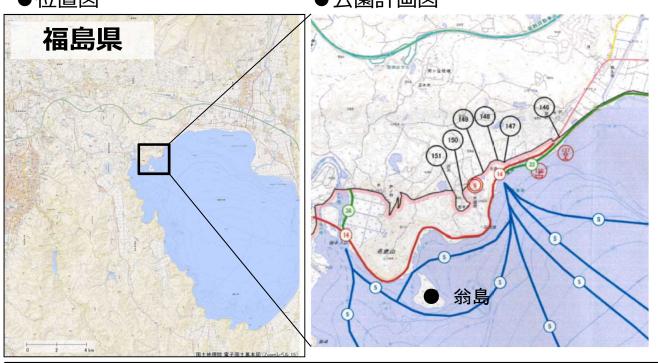
区域面積:3.0ha→1.0ha

執行者(予定者):民間

第2種特別地域(民間)

●位置図

●公園計画図







翁島地域は、磐梯朝日国立公園(磐梯吾妻・猪苗代地域)を特徴づける景観のひと つである猪苗代湖の北岸に位置する無人島及びその対岸地域である。宿舎等も多く 立地することから、猪苗代湖の主要な観光拠点となっており、湖水浴、船舶による 遊覧、散策、休憩等の利用がなされている。



事業規模

区域面積: 3.0ha → 1.0ha





公園計画の変更より集団施設地区の解除がなされたことに伴い、既存施設の単独施設への変更を実施するもの。周辺には翁島周辺を遊覧する観光船乗り場等の利用施設が多く整備されていることから、猪苗代湖の湖沼景観を楽しむための滞在拠点として機能している。民間が整備した宿舎2件を含む1.0haを事業規模としている。

既存施設の把握(宿舎)

執行者:民間

- 翁島集団施設地区として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な宿舎 が整備されている。(民間)
- 既存施設の把握を行うものであり、新たな整備は予定されていないことから、 自然環境への影響は生じない。



(有)観光長浜館



(有)みなとや旅館

磐梯朝日国立公園 翁島係留施設

変更

区域面積: 295ha→1.0ha

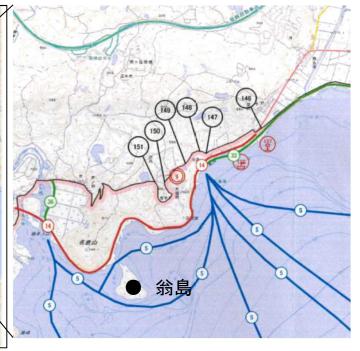
執行者(予定者):福島県、猪苗代町

第2種特別地域(公有地(福島県))

●位置図

福島県









翁島地域は、磐梯朝日国立公園(磐梯吾妻・猪苗代地域)を特徴づける景観のひ とつである猪苗代湖の北岸に位置する無人島及びその対岸地域である。宿舎等も多 く立地することから、猪苗代湖の主要な観光拠点となっており、湖水浴、船舶によ る遊覧、散策、休憩等の利用がなされている。



事業規模

区域面積: 295ha → 1.0ha





公園計画の変更より集団施設地区の解除がなされたことに伴い、既存施設の単独施設への変更を実施するもの。翁島地域にある唯一の係留施設であり、翁島周辺を遊覧するための観光船等が発着する。福島県が整備した桟橋に加え、福島県及び猪苗代町が整備した係留施設利用者のための駐車場、泊地、広場、公衆便所等の周辺施設を含んだ1.0haを事業規模としている。

既存施設の把握(係留施設、駐車場他)

執行者:福島県、猪苗代町

- 翁島集団施設地区として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な係留施設、駐車場、広場等が整備されている。(福島県)
- 翁島集団施設地区として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な公衆 便所が整備されている。(猪苗代町)
- 既存施設の把握を行うものであり、新たな整備は予定されていないことから、 自然環境への影響は生じない。



係留施設及び公衆便所



駐車場及び広場

○.横湯地獄谷線道路(車道)【決定】

上信越高原国立公園 横湯地獄谷線道路(車道)



路線距離:1.2km

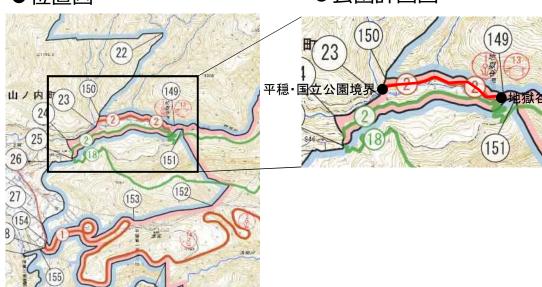
有効幅員:4.0m

執行者(予定者):山ノ内町

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





起点(平穏·国立公園境界)付近



- ○平穏・国立公園境界(渋温泉の奥)と地獄谷を結ぶ車道。普通車のみ通行可で、冬季閉鎖される。途中の駐車場から地獄谷の区間は徒歩利用となっている。
- ○地獄谷野猿公苑、地獄谷温泉の夏季の利用者に利用される。地獄谷野猿公苑の年間の入場者数は20万人以上で、そのうちインバウンドが約5割。

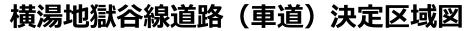
事業規模

路線距離:1.2km

有効幅員:4.0m









- 横湯地獄谷線道路(車道)として計画されている全区間を決定するもの。
- 事業執行予定者は山ノ内町。

既存施設の把握(車道)

執行予定者:山ノ内町

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため横湯地獄谷線道路(車道)事業として、 既存の車道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。

自然環境への影響

既存の車道を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、車道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

○. 笠ヶ岳線道路(車道) 【決定】

上信越高原国立公園 笠ヶ岳線道路(車道)



路線距離: 5.0km

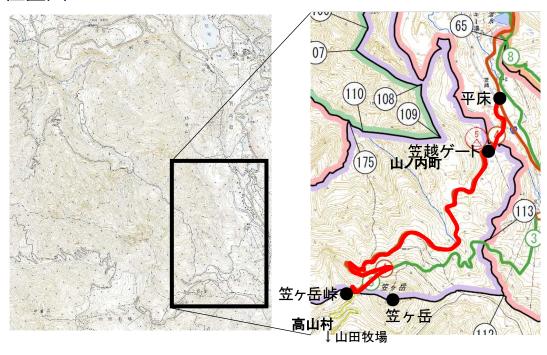
有効幅員:4.0m

執行者(予定者):長野県

第1種特別地域、第2種特別地域(国有林、民有地)

●位置図

●公園計画図





笠ヶ岳(笠ヶ岳峠から)



山田牧場

- ○志賀高原集団施設地区の平床から笠ヶ岳峠へ至る車道。平床から笠ヶ岳の北側を通り、山ノ 内町と高山村の境界の笠ヶ岳峠に至る。主要地方道 豊野南志賀公園線 (県道66号)。
- ○志賀高原の熊の湯をはじめとした地域や高山村の七味、五色などの温泉地、山田牧場、笠ヶ 岳登山等の観光目的の利用者に利用される。

笠ヶ岳線道路(車道)決定区域図



事業規模

路線距離:5.0km

有効幅員:4.0m





- 笠ヶ岳線道路(車道)として計画されている全区間を決定するもの。
- 長野県が事業執行予定。

既存施設の把握(車道)

執行予定者:長野県

● 公園を安全かつ快適に利用するため笠ヶ岳線道路(車道)事業として、既存 の車道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



冬期閉鎖ゲート(笠越)



終点(笠ヶ岳峠) 高山村と山ノ内町の町村境

自然環境への影響

既存の車道を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、車道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

○. 秋山線道路(車道)【決定】

上信越高原国立公園 秋山線道路(車道)



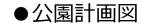
路線距離:11.3km

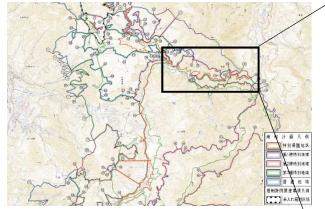
有効幅員:4.0m

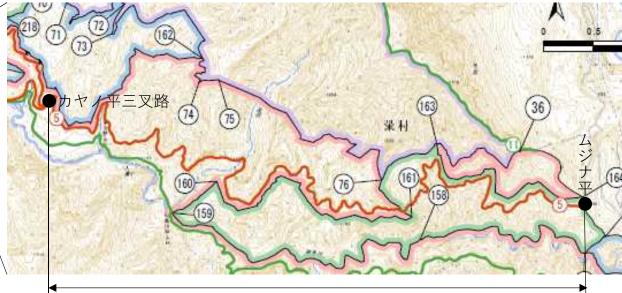
執行者(予定者):栄村

第2種特別地域、第3種特別地域(国有林、民有地)

●位置図







秋山線道路(車道)



鳥甲山(白嵓の頭)南壁

- ○ともに栄村地内のカヤノ平三叉路・車道分岐点とムジナ平 ・国立公園境界を結ぶ車道。通称は雑魚川林道または秋山 林道。山ノ内町と栄村を結ぶ道路。冬季閉鎖される。
- ○車道沿線の雑魚川や鳥甲山の新緑・紅葉の鑑賞や、雑魚川 渓谷の散策の利用者などに利用される。

秋山線道路(車道)決定区域図



- 秋山線道路(車道)として計画されている全区間を決定するもの。
- 栄村が事業執行予定。

事業規模

路線距離:11.3km

有効幅員:4.0m



起点(カヤノ平三叉路)



終点(ムジナ平)

既存施設の把握(車道)

執行予定者: 栄村

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため秋山線道路(車道)事業として、既存の車道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



第2種特別地域と第3種特別地域境界付近



雑魚川渓谷の紅葉鑑賞利用者の車

自然環境への影響

既存の車道を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、車道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

蓮池野沢線道路(車道) 【決定】

上信越高原国立公園 蓮池野沢線道路(車道)

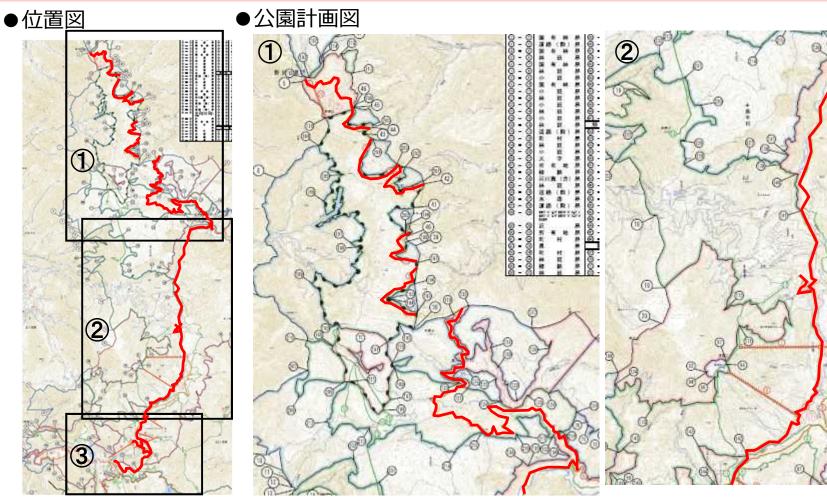


路線距離:55.0km 有効幅員:6.0m

執行者(予定者):長野県、山ノ内町

及び民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(国有林、公有地(山ノ内町)、民有地)



○. 蓮池野沢線道路(車道) 【決定】

上信越高原国立公園 蓮池野沢線道路(車道)



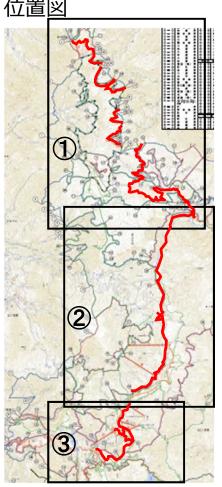
路線距離:55.0km 有効幅員:6.0m

執行者(予定者):長野県、山ノ内町

及び民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(国有林、公有地(山ノ内町)、民有地)

●位置図



●公園計画図





- ○蓮池と野沢温泉スキー場を結ぶ長野県道471号(奥志賀公園線) 及び長野県道502号(奥志賀公園栄線)とそこから分岐する道路 からなる。山ノ内町、木島平村、野沢温泉村及び栄村を通過す る。
- ○志賀高原内の利用拠点の移動のほか、野沢温泉村、木島平村ま たは栄村の利用拠点への経路として利用される。沿線は落葉樹 林が多いため、新緑や紅葉の時期は特に利用される。

蓮池野沢線道路(車道)決定区域図

包志賀高原

事業規模 路線距離:55.0km

有効幅員:6.0m



と志賀小丸山スキー場

竜王マウンテンバーク

▶ 地獄谷野猿公苑





山線道路(車道)分岐点





- ・ 蓮池野沢線道路(車道)として計画されている全区間を決定するもの。
- 長野県及び山ノ内町が事業執行予定。

既存施設の把握(車道)

執行者予定者: 長野県、山ノ内町及び民間

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため蓮池野沢線道路(車道)事業として、既存の車道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



起点(蓮池・車道分岐点)付近



終点(野沢温泉スキー場)付近

自然環境への影響

既存施設の改修及び新たな整備等の予定はない。また、継続的な公園利用に供するよう適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、車道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

上信越高原国立公園 鳥甲山登山線道路(歩道)



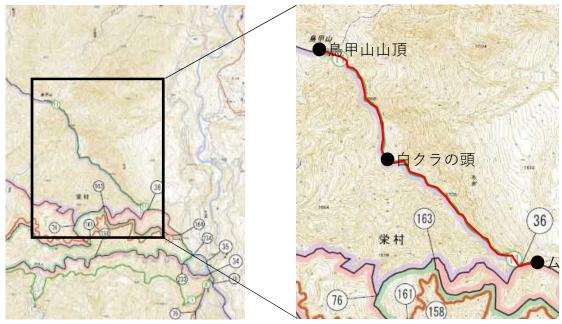
路線距離:4.4km

執行者(予定者): 栄村

第1種特別地域(国有林)

●位置図

●公園計画図





鳥甲山(起点から白クラの頭 付近まで見えている)

ムジナ平・国立公園境界

- ○ムジナ平・国立公園境界から鳥甲山山頂に至る登山道。
- ○稜線上を歩くので眺めが良い。細い尾根や岩場など歩行に注意を要する箇所がある。

鳥甲山登山線道路(歩道)決定位置図



事業規模

路線距離: 4.4km



起点(ムジナ平・国立公園境界)



終点(鳥甲山山頂)

- ○カヤノ平八剣山登山線道路(歩道)として計画されている全区間を決定する もの。
- ○事業執行予定者は栄村。

既存施設の把握(歩道)

執行予定者: 栄村

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため鳥甲山登山線道路(歩道)事業として、 既存の歩道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



赤テープによる道の表示



細い尾根

自然環境への影響

既存の歩道を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、歩道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

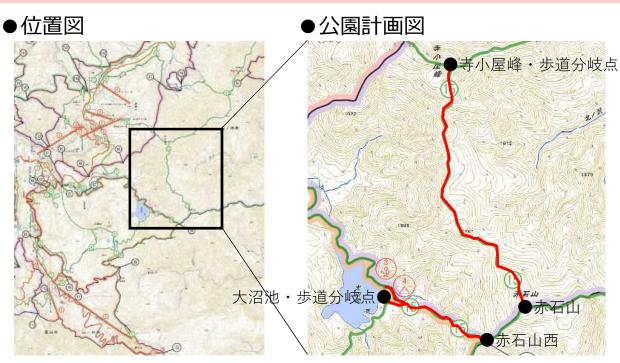
上信越高原国立公園 赤石山登山線道路(歩道)



路線距離:5.0km

執行者(予定者):山ノ内町

特別保護地区、第1種特別地域(国有林、民有地)





赤石山



赤石山山頂から大沼池を望む

- ○寺子屋峰・歩道分岐点から赤石山に至る区間及び大沼池・歩道分岐点から赤石山西に至る区間からなる登山道。
- ○赤石山登山及びぐんま県境稜線トレイルへのアクセスに利用される。
- ○赤石山山頂からは大沼池や北アルプスの山々を一望できる。

赤石山登山線道路(歩道)決定位置図



事業規模 路線距離: 5.0km



起点(大沼池・歩道分岐点)の公衆便所



終点(赤石山西)

- ○赤石山登山線道路(歩道)として計画されている全区間を決定するもの。
- ○事業執行予定者は山ノ内町。

既存施設の把握(歩道)

執行予定者:山ノ内町

● 公園を安全かつ快適に利用するため赤石山登山線道路(歩道)事業として、 既存の歩道を把握するもの。老朽化が進んでいる階段の軽微な補修等が予定 されている。



階段工



資源名標識及び誘導標識

自然環境への影響

既存の歩道を把握するものである。老朽化が進んでいる階段の軽微な補修等が予 定されている。

管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、歩道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。



路線距離:7.3km

執行者(予定者):山ノ内町、民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(公有地(山ノ内町)、民有地)

●位置図

●公園計画図





焼額山山頂の稚児池

- ○一の瀬から焼額山山頂を経て奥志賀高原に至る登山道。焼額山山頂には稚児池がある。
- ○平成31年1月の公園計画再検討により、一の瀬付近は特別地域から第2種特別地域に、その他の地域は普通地域から第1種特別地域、第2種特別地域または第3種特別地域に変更された。
- ○焼額山山頂から奥志賀高原側の区間のほとんどはスキー場のゲレンデを通る。
- ○一の瀬、奥志賀高原それぞれから焼額山山頂までの往復という利用もされる。

烧額山登山線道路(歩道)決定位置図



事業規模

路線距離:7.3km



起点付近(一の瀬)



終点 (奥志賀高原)

- ○焼額山登山線道路(歩道)として計画されている全区間を決定するもの。
- ○事業執行予定者は山ノ内町、民間。

既存施設の把握(歩道)

執行予定者:山ノ内町、民間

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため焼額山登山線道路(歩道)事業として、 既存の歩道を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



焼額山山頂部の木道



スキー場のゲレンデを歩く区間が比較的長い 写真中央が終点の奥志賀高原

自然環境への影響

既存の歩道を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、歩道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

○. 志賀高原宿舎【決定】

上信越高原国立公園 志賀高原宿舎

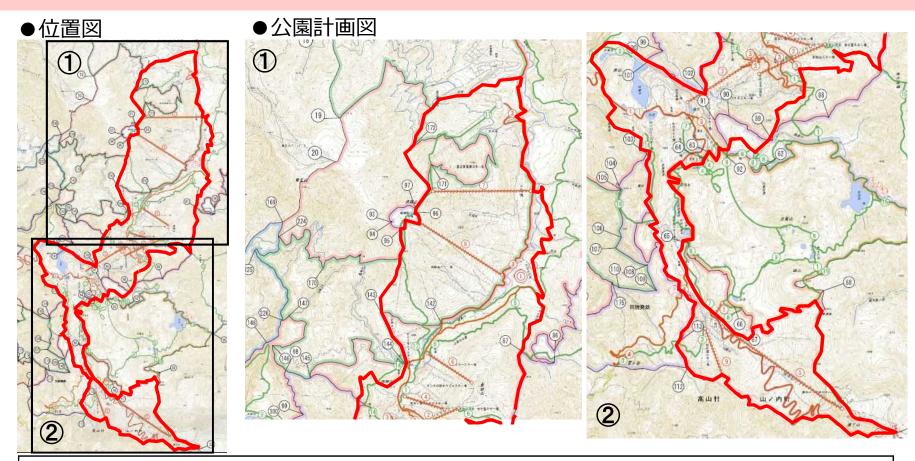


区域面積: 2547.5ha

最大宿泊者数:20,000人/日

執行者(予定者):民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(公有地(山ノ内町)、民有地)

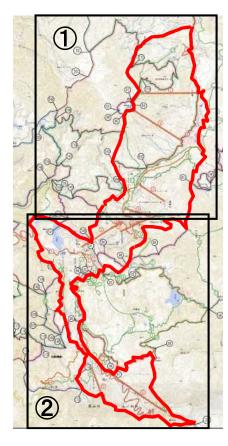


- ○志賀高原集団施設地区は、国道292号及び県道奥志賀公園線沿線に位置し、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に広がる利用拠点。スキー利用、自然探勝利用、登山利用等で利用される。
- ○志賀高原の平成29年の宿舎者数は1,783,900人。

志賀高原宿舎 決定区域図

事業規模 路線距離: 2547.5ha

最大宿泊者数:20,000人/日







○志賀高原の宿舎は、大小さまざまな宿泊施設が面的に分散している。それぞれの施設が特色を持っているので、利用者は地域全体の中からニーズに合った宿泊施設を選択するといった形で、地域として一体的に利用されている。このため宿舎を含む区域を事業区域とした。

執行者(予定者):民間

◆ 公園を安全かつ快適に利用するため志賀高原宿舎事業として、既存の宿舎を 把握するもの。新たな整備等の予定はない。







自然環境への影響

公園事業に位置づけ、事業執行してもらうことで、適切に維持管理されるため、 利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、植生保護などの自然環境保全に も繋がる。

以上のことから周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

上信越高原国立公園 岩菅山避難小屋



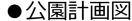
箇所数:1箇所

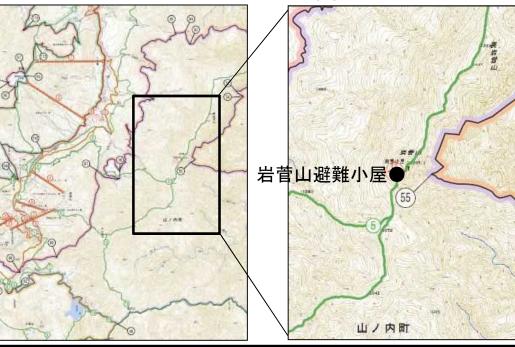
執行者(予定者):山ノ内町

第1種特別地域(民有地)

●位置図











- 岩菅山(標高2,295m)の山頂直下に位置する。
- 岩菅山登山者の休憩や宿泊に利用される。
- 無人の避難小屋であるため利用者数は把握されていない。

○. 岩菅山避難小屋【決定】

岩菅山避難小屋決定位置図



事業規模

箇所数:1箇所





- 岩菅山避難小屋として計画されている施設を決定するもの。
- 現在の施設は山ノ内町により整備されたものである。
- 山ノ内町が事業執行予定。

執行予定者:山ノ内町

●公園を安全かつ快適に利用するため避難小屋として、既存の施設を把握するもの。 新たな整備等の予定はない。

自然環境への影響

既存の施設を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、避難小屋周辺の自然環境保全にも繋がることが期待される。

○.カヤノ平野営場【決定】

上信越高原国立公園 カヤノ平野営場



区域面積:19.5ha

最大宿泊者数:200人/日

執行者(予定者):木島平村

第3種特別地域、普通地域(国有林)

●位置図





カヤノ平キャンプ場

- ○標高約1,500mのカヤノ平高原にあるキャンプ施設である。おおよそ6月から10月まで開設される。カヤノ平牧場に隣接。
- ○キャンプ(宿泊・日帰り)は常設、持ち込みのほかオートキャンプも利用される。またロッジは宿泊、食事 に利用される。

○. カヤノ平野営場【決定】

カヤノ平野営場決定位置図



事業規模

区域面積:19.5ha

最大宿泊者数:200人/日



オートキャンプサイト



● カヤノ平野営場として計画されている全域を決定するもの。

● 事業執行予定者は木島平村。既にキャンプサイト、ロッジ及び炊事棟などが整備 された場所であるため、新たな自然植生地の開発はない。

執行予定者:木島平村

●公園を安全かつ快適に利用するためカヤノ平野営場事業として、既存の施設を把握するもの。新たな整備等の予定はない。



テントサイト



炊事棟

自然環境への影響

既存の野営場を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、野営場周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

○. 巣鷹湖野営場【決定】

上信越高原国立公園 巣鷹湖野営場



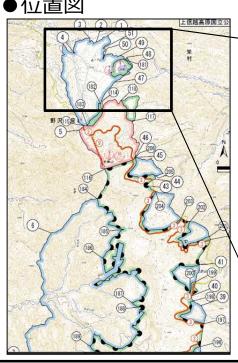
区域面積:18ha

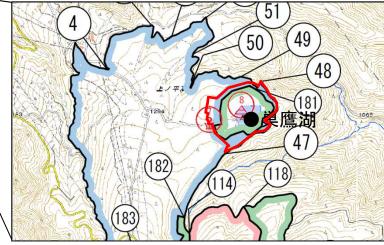
最大宿泊者数:1,000人/日

執行者(予定者):民間

第3種特別地域、普通地域(国有林)

●位置図









- ○巣鷹湖は毛無山中腹の上ノ平高原に位置する。巣鷹湖野営場はそのほとりにある。通称は巣鷹湖キャンプ 場。
- ○キャンプ(宿泊・日帰り)のほか、キャンプ場が釣りや手漕ぎボートなどのアクティビティを提供してい る。また、周辺の散策の拠点としても利用されている。

○. 巣鷹湖野営場【決定】

巣鷹湖営場決定位置図



事業規模

区域面積:18ha

最大宿泊者数:1,000人/日



管理棟



バンガロー

- 巣鷹湖野営場として計画されている全域を決定するもの。国有林野の貸し付け地 及びその周辺で一体的に利用されている小班を事業決定区域とする。
- 民間が事業執行予定。既に管理棟、バンガロー、キャンプサイトなどが整備された場所であるため、新たな自然植生地の開発はない。
- 排水は既設排水処理施設に接続するなどして巣鷹湖に流れ込むことはないように する。

執行予定者:民間

●公園を安全かつ快適に利用するため巣鷹湖野営場事業として、既存の施設を把握するもの。老朽化した公衆トイレの改修が予定されているが、新たな整備等の予定はない。



テントサイト



炊事場

自然環境への影響

既存の野営場を把握するものである。老朽化した公衆トイレの改修が予定されているが、新たな整備等の予定はない。

管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、野営場周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

○. 志賀高原スキー場【決定】

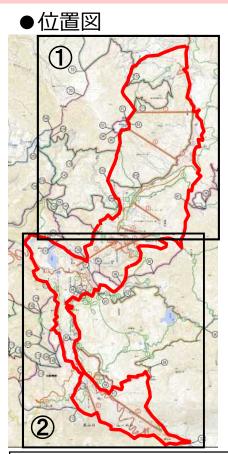
上信越高原国立公園 志賀高原スキー場

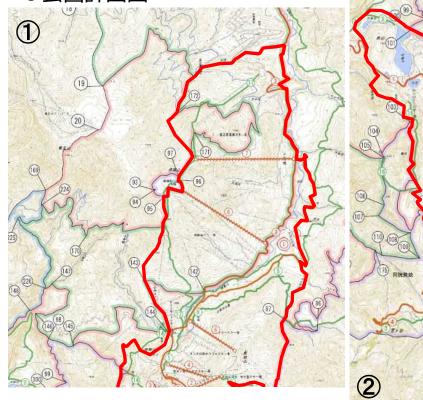


区域面積: 2547.5ha

執行者(予定者):民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(公有地(山ノ内町)、民有地)







- ○志賀高原集団施設地区は、国道292号及び県道奥志賀公園線沿線に位置し、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に広がる利用拠点。スキー利用、自然探勝利用、登山利用等で利用される。
- ○志賀高原の18箇所のスキー場の平成29-30年シーズンの利用者数は91.4万人。

志賀高原スキー場決定区域図



事業規模 路線距離: 2547.5ha













○志賀高原の18箇所のスキー場は、全山共通リフト券の発売やスキー場間の連絡コース 設置、スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このた めスキー場を含む区域を事業区域とした。

執行者(予定者):民間

● 公園を安全かつ快適に利用するため志賀高原スキー場事業として、既存のスキー場を把握するもの。新たな整備等の予定はない。





自然環境への影響

公園事業に位置づけ、事業執行してもらうことで、適切に維持管理されるため、 利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、植生保護などの自然環境保全に も繋がる。

以上のことから周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

上信越高原国立公園一の瀬索道運送施設

路線距離: 1.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間

第2種特別地域(民有地)

●公園計画図





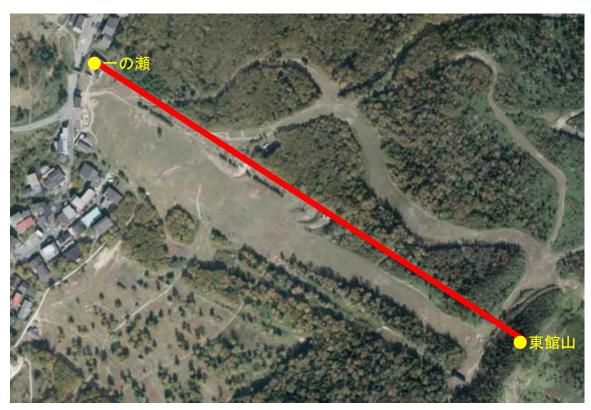


【決定】

起点付近から終点方向を望む

- ○一の瀬から東館山に至る索道運送施設。起点(一の瀬)は標高約1,620m、終点 (東館山)は標高約1,940mに位置し、周囲はダケカンバ、オオシラビソ等の樹 林帯が広がる。
- ○冬季にはスキー利用されている施設である。

一の瀬運輸施設(索道運送施設) 決定位置図



事業規模

路線距離: 1.5km

最大輸送量:3,000人/時

- 一の瀬運輸施設(索道運送施設)として計画されている施設を決定するもの。
- 民間が事業執行予定。既に索道などが整備されている。
- スキー場(高天ヶ原スキー場事業)のリフトとして利用されている施設を夏季利用する。

路線距離:1.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間



起点の駅舎



起点の駅舎



● スキー場施設として索道が整備されている。

自然環境への影響

既存の索道運送施設を把握するもので、新たな整備等の予定はない。最大輸送量 は既存の輸送量と同じであり、既存の利用状況では、利用者の滞留や敷地外への 踏み外し等も発生していないため、周囲の自然環境へ与える影響は最小限である と考えられる。

上信越高原国立公園 奥志賀高原運輸施設(索道運送施設)

決定

路線距離: 2,000m

最大輸送量:1,800人/時

執行予定者:民間

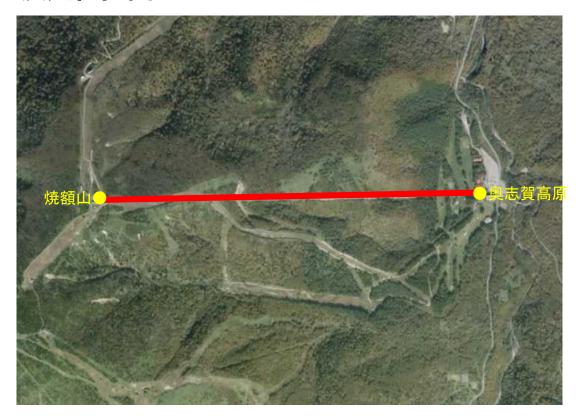
第2種特別地域(民有地)





- ○奥志賀高原から焼額山へ至る索道運送施設。起点(奥志賀高原)は標高約1,470 m、終点(焼額山)は標高約1,940mに位置し、周囲はダケカンバ、オオシラビ ソ等の樹林帯が広がる。
-)冬季にスキー利用されている施設である。

奥志賀高原運輸施設(索道運送施設) 決定位置図



事業規模

路線距離: 2,000m

最大輸送量:1,800人/時

【決定】

- 奥志賀高原運輸施設(索道運送施設)として計画されている施設を決定するもの。
- 民間が事業執行予定。
- スキー場のリフトとして利用されている施設を夏季利用する。
- 索道運送施設、スキー場とも公園計画の変更に伴い事業として把握する。

路線距離: 2,000m

最大輸送量:1,800人/時

執行予定者:民間







● スキー場施設として索道が整備されている。

自然環境への影響

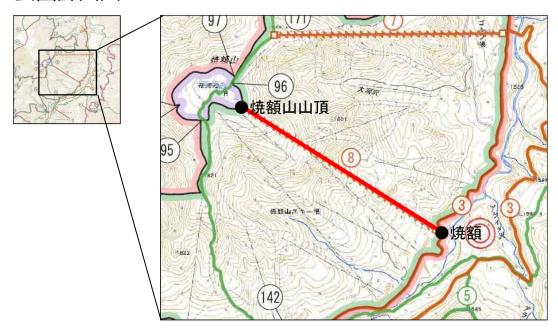
既存の索道運送施設を把握するもので、新たな整備の予定はない。最大輸送量は 既存の輸送量と同じであり、既存の利用状況では、利用者の滞留や敷地外への踏 み外し等も発生していないため、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると 考えられる。

路線距離:2.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間

第3種特別地域(民有地)





- ○焼額地域から焼額山山頂に至る索道運送施設。起点(焼額)は標高約1,580m、終点(焼額山山頂)は標高約1,990mに位置し、周囲はダケカンバ、オオシラビソ等の樹林帯が広がる。
- ○冬季にスキー利用されている施設である。

焼額山運輸施設(索道運送施設) 決定位置図



事業規模

路線距離: 2.5km

最大輸送量:3,000人/時

- 焼額山運輸施設(索道運送施設)として計画されている施設を決定するもの。
- 民間が事業執行予定。
- スキー場のリフトとして利用されている施設を夏季利用する。
- 索道運送施設、スキー場とも公園計画の変更に伴い事業として把握する。

路線距離: 2.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間







● スキー場施設として索道が整備されている。

自然環境への影響

既存のスキー場の索道を運輸施設(索道運送施設)として把握するもので、新たな整備の予定はない。最大輸送量は既存の輸送量と同じであり、既存の利用状況では、利用者の滞留や敷地外への踏み外し等も発生していないため、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

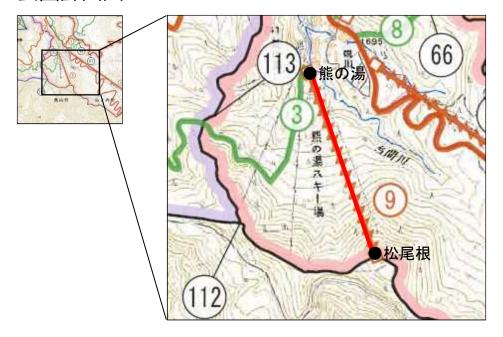
上信越高原国立公園 熊の湯運輸施設(索道運送施設)

路線距離:1.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間

第2種特別地域(民有地)





起点から終点方向を望む

- ○熊の湯から松尾根に至る索道運送施設。起点(熊の湯)は標高約1,680m、終点 (松尾根)は標高約1,950mに位置し、周囲はダケカンバ、オオシラビソ等の樹 林帯が広がる。
- ○冬季にスキー利用されている施設である。

熊の湯運輸施設(索道運送施設) 決定位置図



事業規模

路線距離:1.5km

最大輸送量:3,000人/時

【決定】

- 熊の湯運輸施設(索道運送施設)として計画されている施設を決定するもの。
- 民間が事業執行予定。
- スキー場のリフトとして利用されている施設を夏季利用する。

路線距離:1.5km

最大輸送量:3,000人/時

執行予定者:民間







● スキー場施設として索道が整備されている。

自然環境への影響

既存の索道運送施設を把握するもので、新たな整備の予定はない。最大輸送量は 既存の輸送量と同じであり、既存の利用状況では、利用者の滞留や敷地外への踏 み外し等も発生していないため、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると 考えられる。

○. 志賀高原排水施設【変更】

上信越高原国立公園 志賀高原排水施設



区域面積:140.0ha(変更なし)

排水処理量:8,000㎡/日→12,000㎡/日

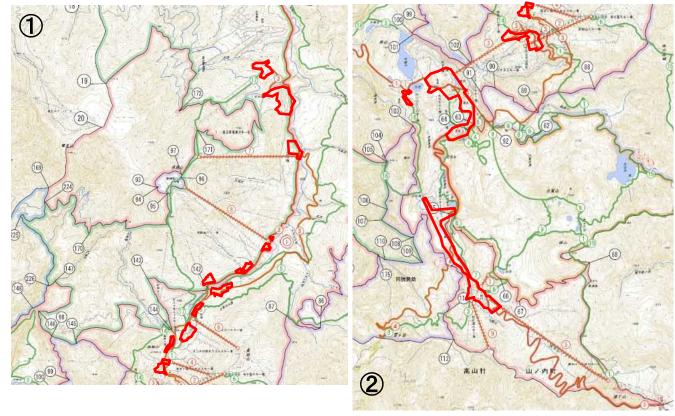
執行者(予定者):民間

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(公有地(山ノ内町)、民有地)

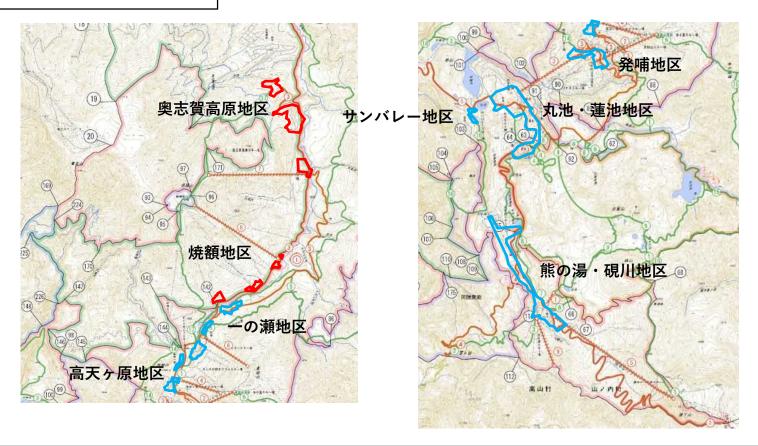
●位置図

1





- ○志賀高原排水施設は、国道292号及び県道奥志賀公園線沿線等に位置する宿泊施設などからの排水 を処理する施設である。
- ○志賀高原の平成29年の利用者数(日帰り、宿泊)は2,291,800人。



○志賀高原地域の排水施設は、大小さまざまなで面的に分散している宿泊施設や公衆便所 などからの排水を処理する施設である。雑魚川などの河川の源流部に位置する志賀高原 地域の水質保全のため必要な施設であるため、奥志賀高原地区及び焼額地区も含めた事 業に変更し、適切な維持管理を図る。

公園計画の再検討に伴う既存施設の把握

執行者(予定者):民間

● 公園計画の再検討に伴い、奥志賀高原地区及び焼額地区にも集団施設地区の 範囲を拡大した。集団施設地区を一体的に管理するために、これまでの排水 施設事業の区域に上の2地区を加えて、新たに志賀高原排水施設として把握 する。本排水施設の適切な維持管理が促進され、周辺の自然環境保全の向上 に繋がることが期待できることから、利用上の必要性は高い。







自然環境への影響

既存の排水施設を把握するもので、新たな整備等の予定はない。また、管理者を明確にすることで、適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、水質などの自然環境保全にも繋がる。 以上のことから、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

上信越高原国立公園 岩菅山登山線道路(歩道)



路線距離:24.0km→7.1km

執行予定者:山ノ内町

第1種特別地域、第2種特別地域(民有地)







- ○一の瀬旅館街及び聖平から岩菅山ノッキリに至る登山道。
- ○岩菅山から峰続きの裏岩菅山は志賀高原の最高峰で標高2,341m。
- ○岩菅山登山で利用される。環境省の設置した利用者数カウンターの平成29年度の値は約3,000人。

変更後(岩菅山登山線として把握するもの)変更前(切明発哺線として把握していたもの)



【変更】

既存施設の把握

路線距離:24.0km→7.1km

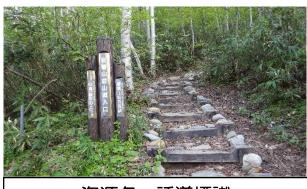
執行予定者:山ノ内町

◆ 公園を安全かつ快適に利用するために必要な階段工、木橋、標識などが整備されている。新たな整備等の予定はない。









資源名•誘導標識

自然環境への影響

既存事業施設の改修及び新たな整備等は予定されていない。事業執行者が明確になり、今後はより適切な維持管理が図られることになるため、利用者の安全、快適性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、歩道周辺の植生などの自然環境保全にも繋がることが期待される。

上信越高原国立公園東館山切明縦走線道路(歩道)

変更

路線距離:5.3km→19.0km

執行予定者:長野県

第1種特別地域、第2種特別地域(国有林、民有地)





- ○東館山山頂から岩菅山、烏帽子岳 を経て切明に至る登山道。
- ○岩菅山から峰続きの裏岩菅山は志 賀高原の最高峰で標高2,341m。
- ○切明までの縦走のほか、岩菅山までの往復の登山で利用される。環境省の設置した利用者数カウンターの平成29年度の値は約2,700人。



変更後(東館山切明縦走線として把握するもの)変更前(岩菅山登山線として把握していたもの)





起点(東館山山頂)付近



路線距離:5.3km→19.0km

執行予定者:長野県

● 公園を安全かつ快適に利用するために必要な階段工、標識などが整備され ているが、一部破損がみられるため、今後全線にわたり適切な執行管理が 必要である。



岩菅山ノッキリ



岩菅山山頂



歩道は稜線上にある

自然環境への影響

既存事業施設の改修及び新たな整備等は予定されていない。しかし、継続的な公 園利用に供するためには破損のみられる施設の適切な維持管理が必要である。 事業執行者が明確になり、適切な維持管理が図られるため、利用者の安全、快適 性の向上に繋がるとともに、適正な利用が推進されることで、歩道周辺の植生な どの自然環境保全にも繋がることが期待される。

上信越高原国立公園 自然探勝路線道路(歩道)



路線距離:5.8km→6.8km

執行予定者:山ノ内町

特別保護地区、第2種特別地域(民有地)





- ○蓮池から硯川に至る自然探勝路。
- ○三角池、木戸池、田ノ原湿原といった池や 湿原のほか、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉 樹林やオオシラビソ等の原生的な林を観察 できる。
- ○バス路線である国道292号を縫うように歩くので、全区間だけでなく、一部の区間の み歩くという利用もされる。

これまで集団施設地区として把握していた路線を新たに道路(歩道)として 決定するもの。







【変更】

既存施設の把握

路線距離: 5.8km→6.8km

執行予定者:山ノ内町

● 公園を安全かつ快適に利用するために必要な階段工、木道、木橋、標識などが整備されている。老朽化した木道の再整備等を予定している。







自然環境への影響

一部において木道の老朽化や洗掘等による歩道の荒廃が生じていることから、木 道の更新や水切工の改修等の整備を行う。これにより、快適な利用につながり、 また、周囲の自然環境への負荷の軽減が図られる。

既存施設の改修が主であることから、支障木の伐採や新たな地形の改変は生じない。また、設置する工作物は自然材料を使用することとしており、既存施設と同等の規模となっている。

以上のことから、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

上信越高原国立公園 志賀高原ぶな平宿舎



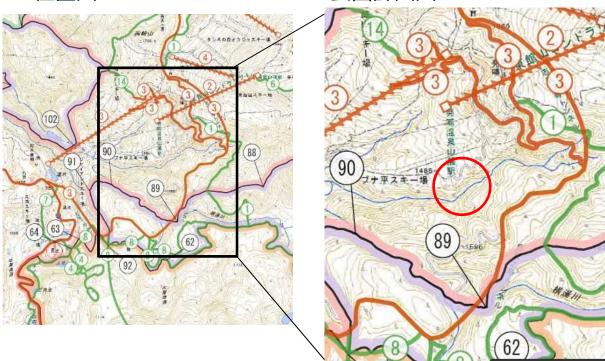
区域面積: 最大宿泊者数: 執行者:民間

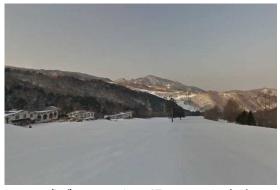
第2種特別地域(民有地)

●公園計画図

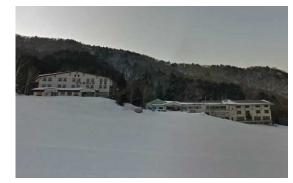
●位置図







発哺ブナ平スキー場に面した宿舎



ぶな平宿舎

○発哺ブナ平スキー場南側に隣接する斜面に並ぶ宿舎。ゲレンデまで0分で、周辺の高天ヶ 原、ジャイアント、丸池などのスキー場へリフト等で接続しているため、主にスキー利用 者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園河原小屋宿舎



区域面積:

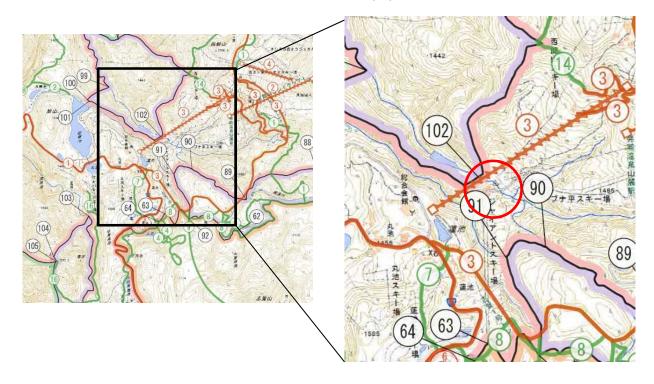
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





河原小屋山宿舎(冬期)



河原小屋山宿舎(夏期)

○ジャイアントスキー場の下部に位置する宿舎。周辺の主な利用形態は、夏期は自然探勝及び登山であり、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれるジャイアントスキー場、丸池スキー場などに近く、スキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 熊の湯宿舎



区域面積:

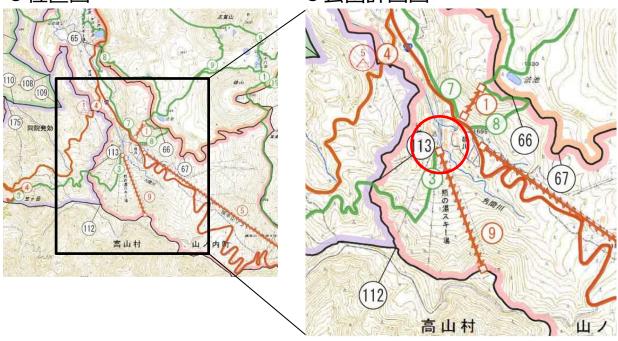
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)









熊の湯宿舎(前山リフトから)



熊の湯宿舎

○熊の湯硯川地区に位置する宿舎。年間を通して利用があり、主な利用形態は、夏期は自然 探勝及び登山、冬期はスキー利用である。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される ほか、温泉利用もされる。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原一の瀬宿舎



区域面積:

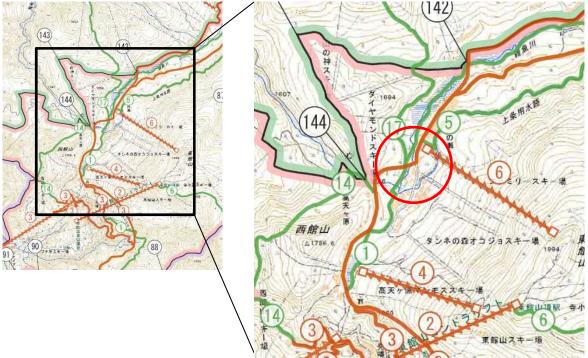
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図







志賀高原一の瀬宿舎



奥に一の瀬ファミリースキー場が見える

○一の瀬地区に位置する宿舎。周辺の主な利用形態は、夏期は岩菅山、焼額山といった志賀高原を代表する山の登山口に近いため自然探勝及び登山であり、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれる一の瀬タンネの森オコジョスキー場などに近いためスキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原丸池宿舎



区域面積:

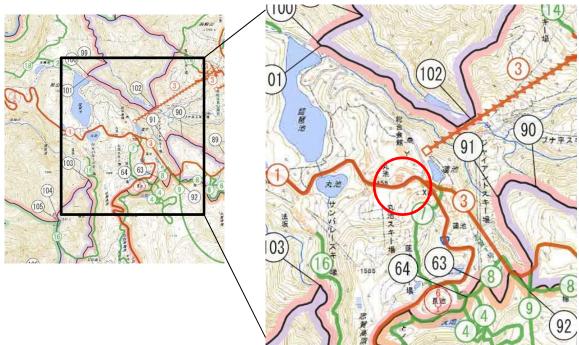
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図







志賀高原丸池宿舎



志賀高原丸池宿舎

○丸池や蓮池の周辺に位置する宿舎。周辺の主な利用形態は、夏期は自然探勝及び登山であり、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれるジャイアントスキー場、丸池スキー場などに近く、スキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原高天ヶ原宿舎



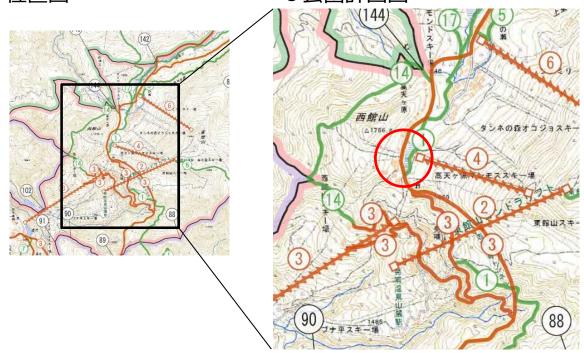
区域面積: 最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原高天ヶ原宿舎



志賀高原高天ヶ原宿舎

○高天ヶ原マンモススキー場の西側に位置する宿舎。周辺の利用形態は、夏期は東館山高山植物園に向かうリフト(スキー場のリフトの夏期利用)が運行されており自然探勝及び登山に利用され、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれる高天ヶ原マンモススキー場がすぐ東側にあるためスキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原池の平宿舎



区域面積:

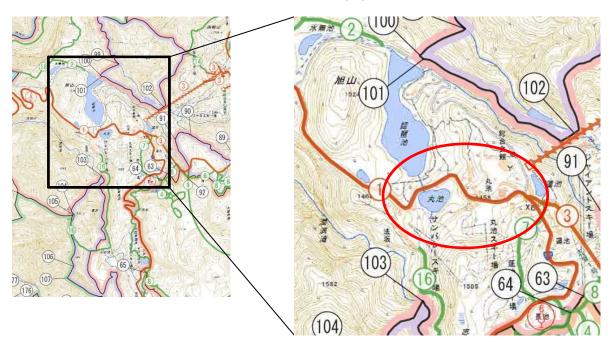
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原池の平宿舎



志賀高原池の平宿舎

○琵琶池、丸池の周辺に位置する宿舎。事業地周辺の利用形態は、主に冬期利用で、良質な 雪質と眺望に恵まれるサンバレースキー場や丸池スキー場がすぐ近くにあるためスキー利 用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原発哺宿舎



区域面積:

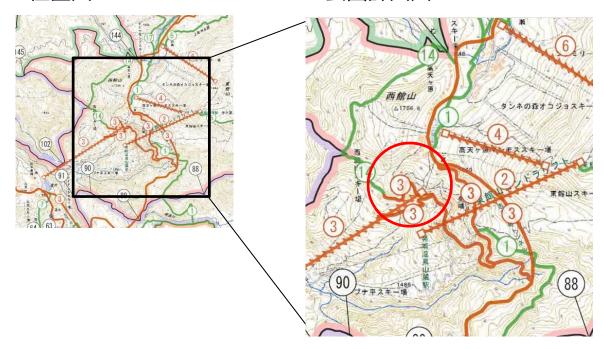
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原発哺宿舎



志賀高原発哺宿舎

○東館山ゴンドラ山麓駅周辺と高天ヶ原地区南部に位置する。事業地周辺は温泉が湧出し通年利用される、また、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれる高天ヶ原スキー場や東館山スキー場がすぐ近くにあるためスキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原法坂宿舎



区域面積:

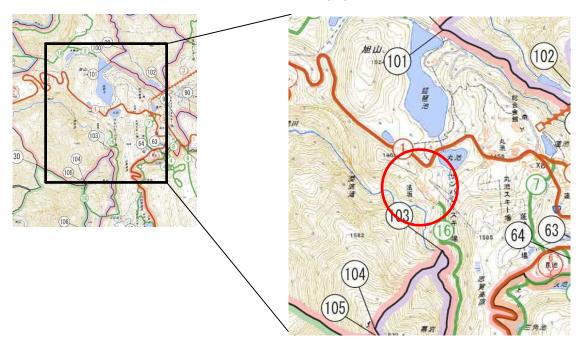
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原法坂宿舎



志賀高原法坂宿舎

○サンバレースキー場近くに位置する。事業地周辺の主な利用形態は冬期のスキーである。良質な雪質と眺望に恵まれるサンバレースキー場が近くにあるため、スキー利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原木戸池宿舎



区域面積:

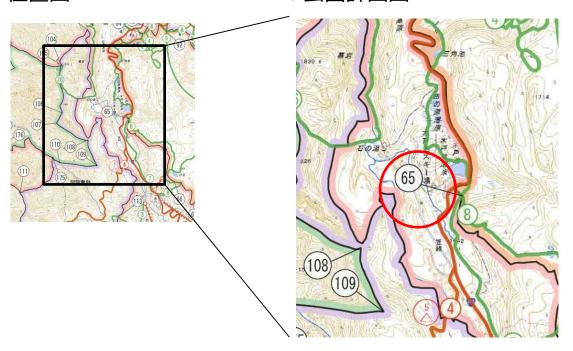
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原木戸池宿舎



志賀高原木戸池宿舎

○木戸池の近くに位置する。事業地周辺は温泉が湧出し、通年利用される。このほか、石の湯のホタル観賞、冬期のスキー利用者などの休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原陽坂宿舎



区域面積:

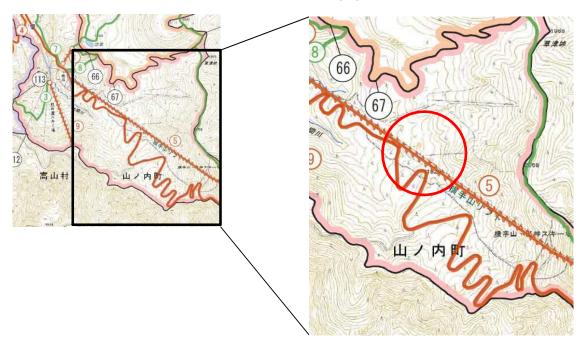
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原陽坂宿舎



志賀高原陽坂宿舎

○横手山スキー場のゲレンデに面している。事業地周辺の主な利用形態は冬期のスキー利用である。良質な雪質と眺望に恵まれた横手山スキー場のゲレンデまで徒歩0分であり、スキー利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原蓮池宿舎



区域面積:

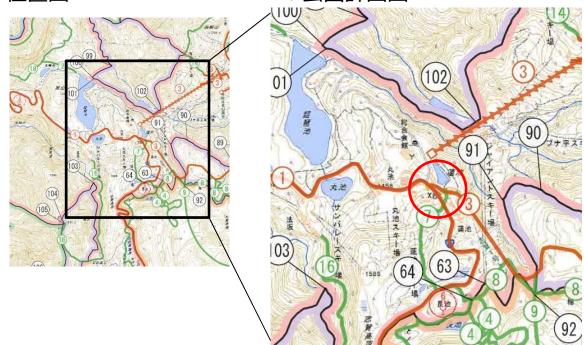
最大宿泊者数:

執行者:執行廃止

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原蓮池宿舎 (施設等は撤去され更地)

○蓮池の周辺に位置する宿舎。周辺の主な利用形態は、夏期は自然探勝及び登山であり、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれるジャイアントスキー場、蓮池スキー場などに近く、スキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用されていた。平成29年に事業執行の廃止届が出され、施設等は撤去されている。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 志賀高原石の湯宿舎



区域面積:

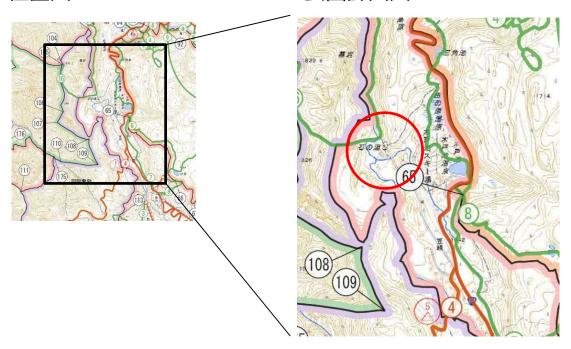
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原石の湯宿舎

○木戸池西方の角間川沿いに位置する。事業地周辺は温泉が湧出し、通年利用される。このほか、石の湯のホタル観賞、冬期のスキー利用者などの休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 **発哺宿舎**



区域面積:

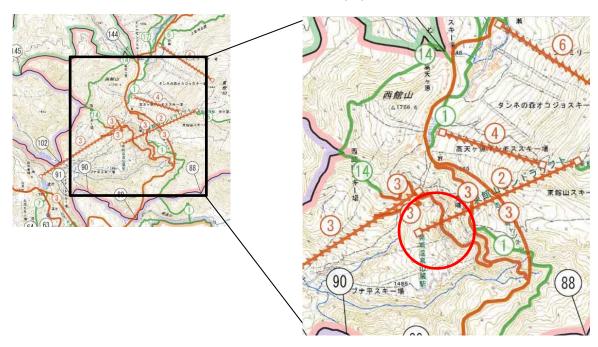
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





発哺宿舎

○東館山ゴンドラ山麓駅近くに位置する。事業地周辺は温泉が湧出し通年利用される、また、冬期は良質な雪質と眺望に恵まれる東館山スキー場が近くにあるためスキー利用が多い。これらの公園利用者の休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 琵琶池宿舎



区域面積:

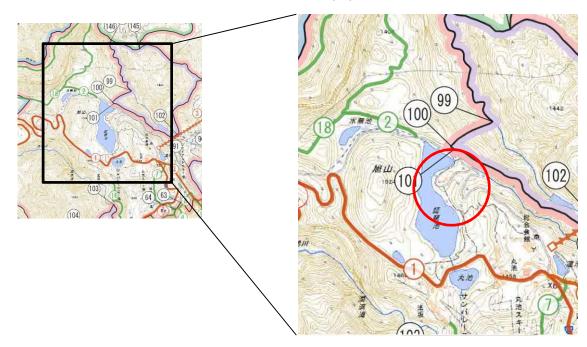
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





琵琶池宿舎

○琵琶池の東側の県道沿いに位置する。周辺は年間を通して利用がある。主な利用形態は、 夏期は自然探勝及び登山、冬期はスキー利用である。これらの利用者の休憩や宿泊に利用 される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

上信越高原国立公園 平床宿舎



区域面積:

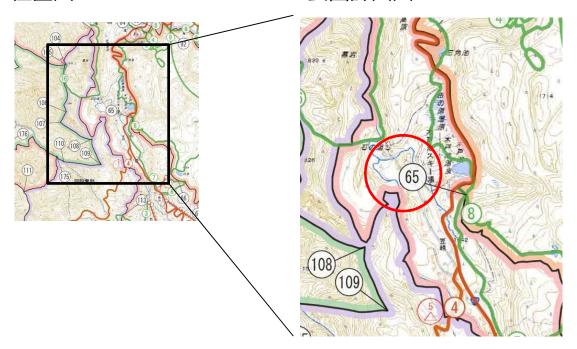
最大宿泊者数:

執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





平床宿舎

○木戸池西方の角間川上流部に位置する。事業地周辺は温泉が湧出し、通年利用される。このほか、石の湯のホタル観賞、冬期のスキー利用者などの休憩や宿泊に利用される。

公園計画の再検討に伴い集団施設地区の範囲が広がった。新しい集団施設地区内の宿舎は、おおよそ標高1,500m以上の高原の地形に様々な規模の宿泊施設がパッチ状に分散している。本地域はこれまでの団体スキーや団体旅行という観光形態から、集団施設地区内の多様な環境を活かしたより魅力的で滞在日数の多い、様々なアクティビティを楽しむことができる旅行形態への変化を模索しているところである。宿舎事業についても、各地区の環境の多様性を活かし、日々変化し多様化する利用者のニーズに志賀高原集団施設地区全体で対応しようとしているところである。これらの動きは、集団施設地区の上質化にもつながり、国立公園の利用者の快適な利用環境の提供に資するものである。このためには、新しい集団施設地区内の全ての宿舎を「志賀高原宿舎事業」という一つの事業として一体的に管理し、流動的な利用者のニーズに柔軟に対応できる体制を整える必要がある。以上のことから、再検討以前に集団施設地区内で宿舎事業として執行されてきた個々の宿舎事業を廃止する。

自然環境への影響

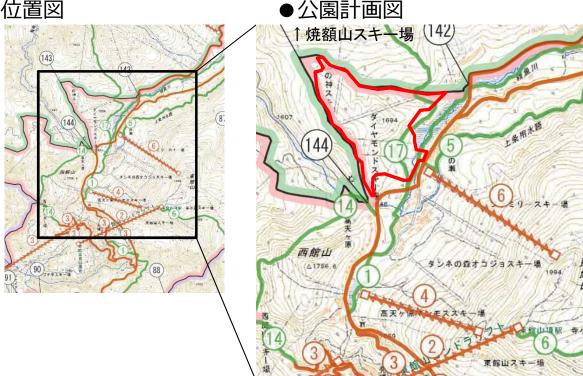
上信越高原国立公園 一の瀬大松山スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図





一の瀬ダイヤモンドスキー場



一の瀬ダイヤモンドスキー場から 一の瀬ファミリースキー場を望む

-の瀬地区宿舎街の西側に位置するスキー場で良質な雪質と眺望に恵まれる。初心者から 中級者向けのゲレンデで利用者層は限られるが、隣接する一の瀬ファミリースキー場(高 天ヶ原スキー場事業)と焼額山・奥志賀エリアのスキー場を結ぶスキー場となっており、 多くの利用者がある。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する

自然環境への影響

○. 横手山スキー場【廃止】

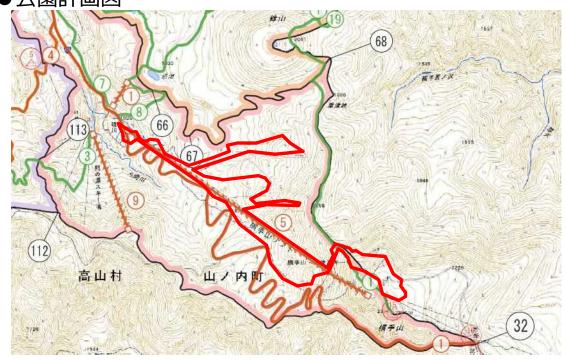
上信越高原国立公園横手山スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●公園計画図





横手山スキー場



横手山スキー場

○志賀高原地域の最南部に位置するスキー場で良質な雪質と眺望に恵まれる。志賀高原で最 も標高の高いところにあるスキー場で、営業期間が長いことから多くのスキー利用者があ る。また、樹氷鑑賞や撮影のため一般の利用者も訪れる。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

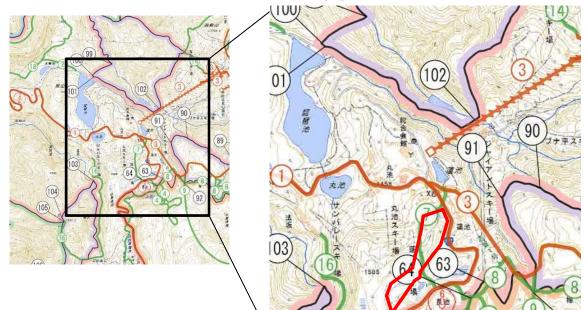
上信越高原国立公園 丸池スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図



●公園計画図



丸池スキー場

○蓮池地区に位置するスキー場で良質な雪質と眺望に恵まれる。初心者向きのスキー場で、また、隣接する丸池スキー場(志賀高原丸池スキー場事業)やジャイアントスキー場(志賀高原スキー場事業)に接続しており、周辺スキー場と一体的に利用されている。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

上信越高原国立公園 熊の湯松尾根スキー場

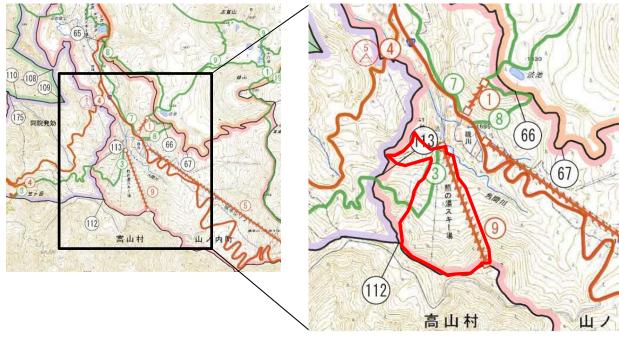


区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図







態の湯松尾根スキー場



熊の湯松尾根スキー場

○熊の湯硯川地区に位置するスキー場で良質な雪質と眺望に恵まれる。初級から上級まで幅 広い利用者向きのスキー場で、隣接する横手山スキー場(横手山スキー場事業)からの連 絡通路があり、一体的に利用されている。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

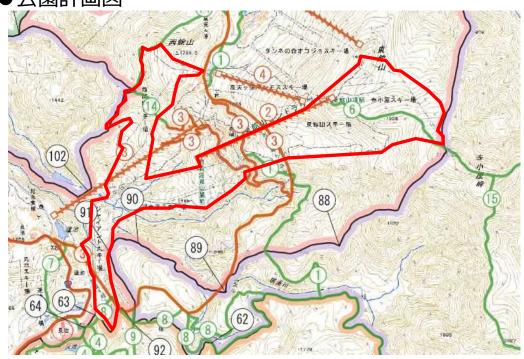
上信越高原国立公園 志賀高原スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●公園計画図





西館山スキー場と東館山スキー場



発哺ブナ平スキー場

○東館山スキー場、寺小屋スキー場、発哺ブナ平スキー場、西館山スキー場及びジャイアントスキー場からなるスキー場事業。初級から上級まで幅広い利用者向きのスキー場で、隣接する蓮池スキー場(丸池スキー場事業)、高天ヶ原スキー場及び一の瀬ファミリースキー場(高天ヶ原スキー場事業)との連絡通路があり、一体的に利用されている。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

上信越高原国立公園 志賀高原スキー場



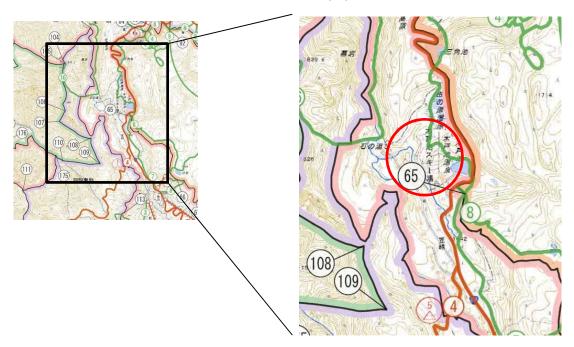
区域面積:

執行者:執行廃止

第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





志賀高原スキー場 (施設等は撤去されている)

○志賀高原スキー場(通称:木戸池スキー場)は、志賀高原地域のスキー場の一つとして良質な雪質と眺望に恵まれる。規模の小さいスキー場で利用者が少なかった。当該事業は、平成30年に事業執行の廃止届が出され、施設等は撤去されている。

事業執行が廃止されており、今後も執行される見込みがないため。

自然環境への影響

施設等は撤去されているため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

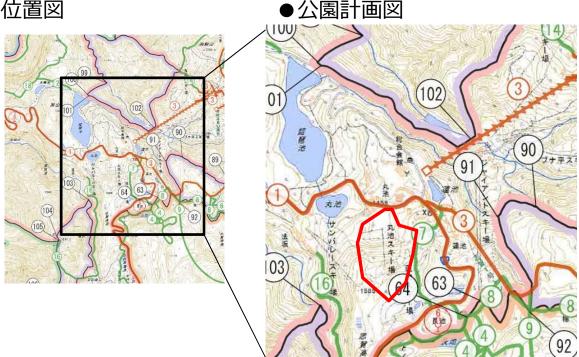
上信越高原国立公園 志賀高原丸池スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●位置図





志賀高原丸池スキー場



丸池地区の宿舎街を望む

○丸池蓮池地区に位置するスキー場で良質な雪質と眺望に恵まれる。キッズパークからモー グルコースまであり幅広い層に利用される。また、隣接するサンバレースキー場(法坂ス キー場事業)や蓮池スキー(丸池スキー場事業)へ接続しており、一体的に利用されてい る。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

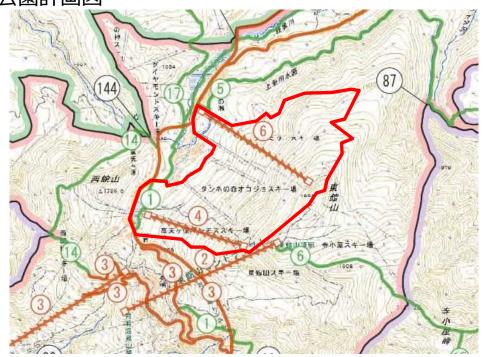
上信越高原国立公園 志賀高原高天ヶ原スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●公園計画図





一の瀬ファミリースキー場



高天ヶ原マンモススキー場

○高天ヶ原マンモススキー場、タンネの森オコジョスキー場及び一の瀬ファミリースキー場からなるスキー場事業である。初級から上級まで幅広い利用者向きのスキー場で、隣接する寺小屋スキー場及び東館山スキー場(志賀高原スキー場事業)、一の瀬ダイヤモンドスキー場(一の瀬大松山スキー場事業)との連絡通路があり、一体的に利用されている。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

上信越高原国立公園 石の湯前山スキー場



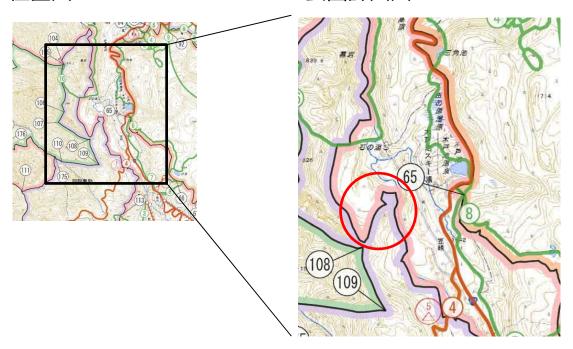
区域面積:

執行者:執行廃止

第1種特別地域、第2種特別地域(民有地)

●位置図

●公園計画図





石の湯前山スキー場 (施設等は撤去されている)

○石の湯前山スキー場(通称:石の湯スキー場)は、志賀高原地域のスキー場の一つとして 良質な雪質と眺望に恵まれる。規模の小さいスキー場で利用者が少なかった。当該事業 は、平成6年に事業執行の廃止届が出され、施設等は撤去されている。

事業執行されていない事業であり、今後も執行される見込みがないため。

自然環境への影響

施設等は撤去されているため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

上信越高原国立公園法坂スキー場



区域面積: 執行者:民間

第2種特別地域(民有地)

●公園計画図





サンバレースキー場



サンバレースキー場

○志賀高原の玄関口にあるスキー場で、また、隣接する丸池スキー場(志賀高原丸池スキー場事業)及び蓮池スキー場(丸池スキー場事業)と接続しており、周辺スキー場と一体的に利用されている。

公園計画の再検討に伴い、集団施設地区の範囲が広がり、焼額地区及び奥志賀高原地区も含まれることになった。新しい集団施設地区内のスキー場は、全山共通リフト券の発行や各スキー場を結ぶシャトルバスの運行などにより一体的に利用されている。このような実態を踏まえ、新しい集団施設地区内のすべてのスキー場を「志賀高原スキー場事業」という一つの事業して位置づけ、一体的に管理することとする。このため、再検討以前に集団施設地区内でスキー場事業として執行されてきた個々のスキー場事業を廃止する。

自然環境への影響

廃止後は、既存の施設等はすべて新たに事業決定を行う「志賀高原スキー場」で 使用し、解体等は行わないため、廃止に伴う自然環境への影響はない。

南アルプス国立公園 駒赤石山系縦走線道路(歩道)

路線距離:75.4km → 86.6km

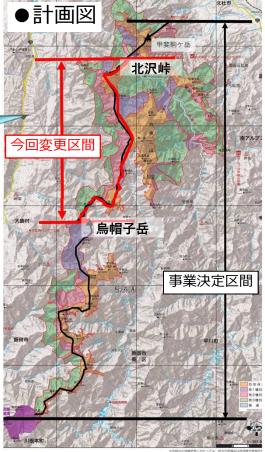
執行者(予定者):山梨県北杜市、

長野県伊那市、静岡県

特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域 (山梨県恩賜県有林、国有林、特種東海製紙(株)社有林)



- 黒戸尾根中腹から赤石岳、塩見岳、 光岳を経て、川根本町(静岡県) 国立公園境界までを縦断する登山 道。うち北沢峠から烏帽子岳間の 事業決定路線距離を変更。
- 百名山の仙丈ヶ岳と塩見岳をつな ぐ南アルプスを代表する縦走路で 人気がある。





北荒川岳から見る塩見岳



塩見小屋から見た三伏峠

登山道の適切な管理

事業規模 路線距離: 75.4km → 86.6km

事業主体:伊那市

①既存指導標等の維持管理

②老朽化している指導標の更新



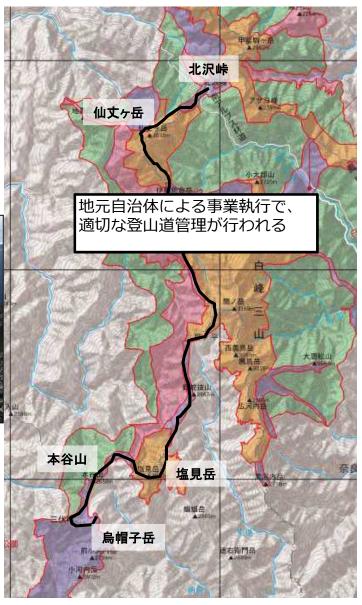
<写真①> 既存指導標の維持管理



<写真②> 老朽化している指導標の 更新

自然環境への影響

南アルプス自然環境活用連携協議会で定めた登山道標識ガイドラインに基づいたデザインとし、風致景観に支障がないよう整備される。



瀬戸内海国立公園 六甲山道路(歩道)

決定

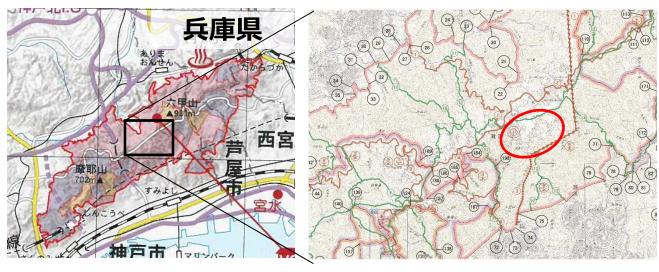
区間距離:1km

執行者:神戸市

第2種特別地域(公有地(神戸市))

●位置図









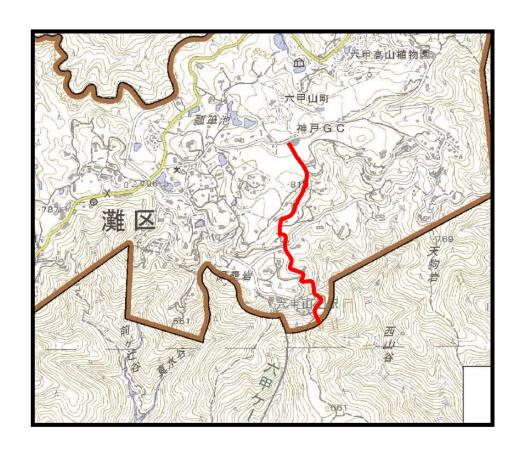
- ○六甲地域は阪神間の大都市に近接していながら良好な自然が保たれているため古くから自然探勝や野外レクリエーションの場として親しまれている。
- ○本事業地周辺には、展望台や休憩所、植物園等の施設が多数あり、ドライブウェイやケーブルが整備されているなどアクセスもよく、重要な利用拠点となっている。



- ○六甲山集団施設地区の指定(H30.8.13)に伴う既設歩道の振替。
- ○油こぶし線道路(歩道)として事業執行されていた歩道の内、集団施設地区に含まれる区間について、集団施設地区の事業として事業決定するものであり、新たな自然環境の改変をや風致上の支障を伴うものではない。

六甲山集団施設地区指定に伴う決定(既設歩道の振替)

- 六甲山集団施設地区の指定に伴い、油こぶし線道路(歩道)(既設)の一部を集団施設地区の 公園事業に振り替えるもの。
- 既設の歩道であり、本件決定による自然環境の改変等はない。







瀬戸内海国立公園 六甲山道路(車道)

変更

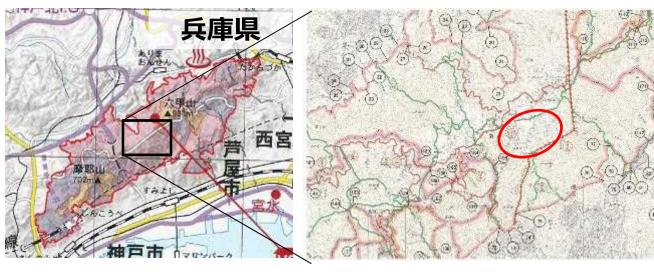
区間距離:3.3 km

執行者:神戸市

第2種特別地域(公有地(神戸市))

●位置図

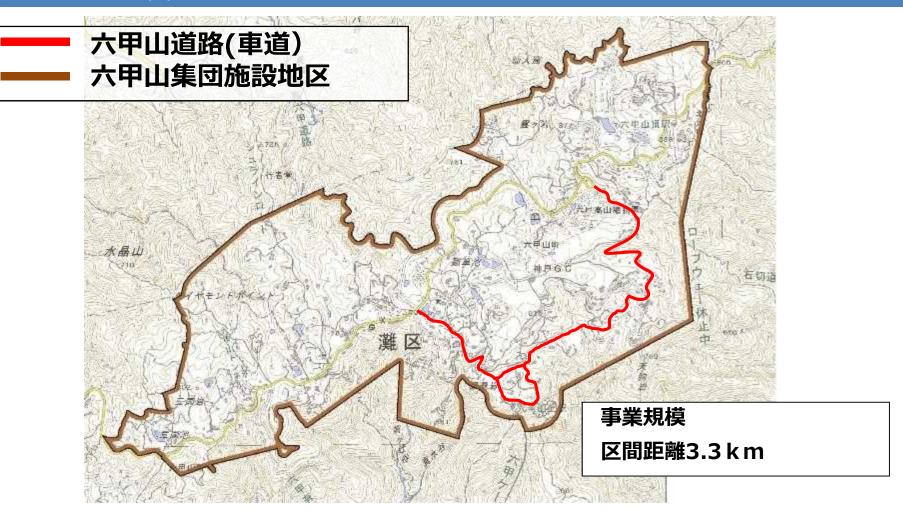








- ○六甲地域は阪神間の大都市に近接していながら良好な自然が保たれているため古くから自然探勝や野外レクリエーションの場として親しまれている。
- ○本事業地周辺には、展望台や休憩所、植物園等の施設が多数あり、ドライブウェイやケーブルが整備されているなどアクセスもよく、重要な利用拠点となっている。



- ○六甲山上の主要利用施設を回遊する車道として神戸市が整備。通称サンライズドライブウェイ。
- ○引き続き良好な利用環境を維持していく。

六甲山集団施設地区の指定に伴う変更(既設車道の振替)

• 六甲山集団施設地区の指定(H30.8.13)に伴い、既整備の表六甲回遊線道路(車道)を 集団施設地区の事業に振り替えるもの。







瀬戸内海国立公園 唐櫃線道路(歩道)

変更

区間距離:5.0 k m→6.0 k m

執行者(予定者):兵庫県

第1・2種特別地域(公有地(神戸市)、私有地)

●位置図

●計画図







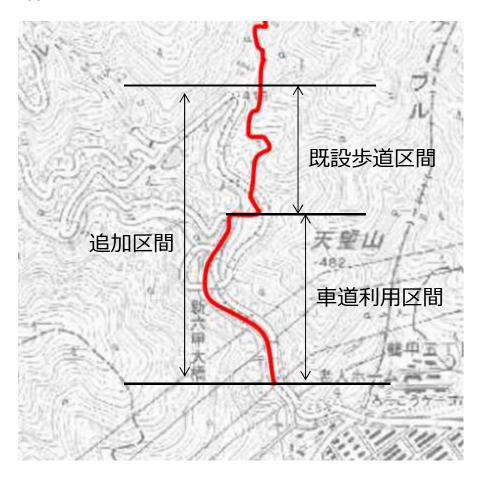
- ○六甲地域は阪神間の大都市に近接していながら良好な自然が保たれているため古くから自然探勝や野外レクリエーションの場として親しまれている。
- ○本事業地周辺には、展望台や休憩所、植物園等の施設が多数あり、ドライブウェイやケーブルが整備されているなどアクセスもよく、重要な利用拠点となっている。



- ○歩道の整備状況と利用実態に合わせて事業決定区間を追加するもの。
- ○追加区間は既整備の車道及び歩道である。

公園計画の変更に伴う事業決定区間の追加

- 公園計画の変更(H30.8.13)により追加された計画区間を事業決定区間に追加するもの。
- 利用実態に即し、既整備の車道及び歩道を追加するものであり、新たな自然環境の改変を 伴うものではない。







瀬戸内海国立公園 油こぶし線道路(歩道)

変更区

区間距離:4.0 k m→3.0 k m

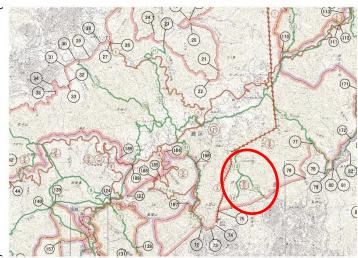
執行者(予定者):兵庫県

第2種特別地域(公有地(神戸市)、私有地)

●位置図



●計画図







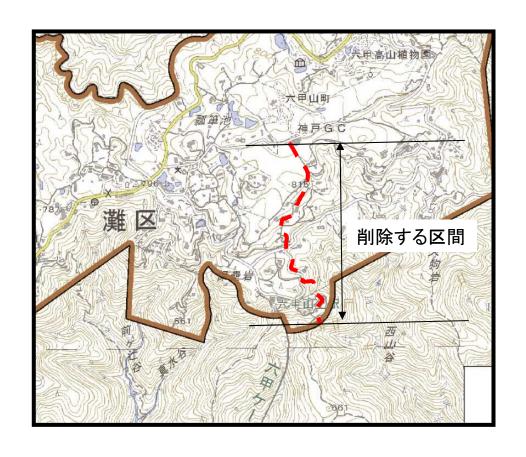
- ○六甲地域は阪神間の大都市に近接していながら良好な自然が保たれているため古くから自然探勝や野外レクリエーションの場として親しまれている。
- ○本事業地周辺には、展望台や休憩所、植物園等の施設が多数あり、ドライブウェイやケーブルが整備されているなどアクセスもよく、重要な利用拠点となっている。



- ○六甲山集団施設地区の指定(H30.8.13)に伴い、集団施設地区内の区間を 六甲山道路(歩道)に振替。
- ○神戸市街地から六甲山中央部に至る最短ルートの一つとして利用者の多い登山道であり、引き続き維持管理を行う。

六甲山集団施設地区指定に伴う変更(区間の一部削除)

- 六甲山集団施設地区の指定に伴い、油こぶし線道路(歩道)(既設)の一部を集団施設地区の 公園事業に振り替えるもの。
- 既設の歩道であり、本件決定による自然環境の改変等はない。







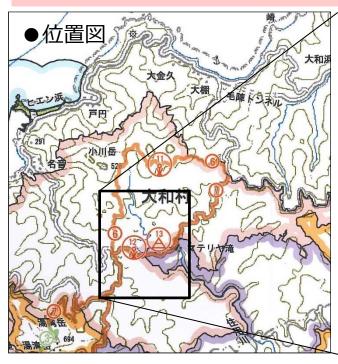
奄美群島国立公園 福元園地



区域面積:13.2ha

執 行 者:環境省、大和村(予定)

第1種特別地域、第2種特別地域(公有地(大和村))



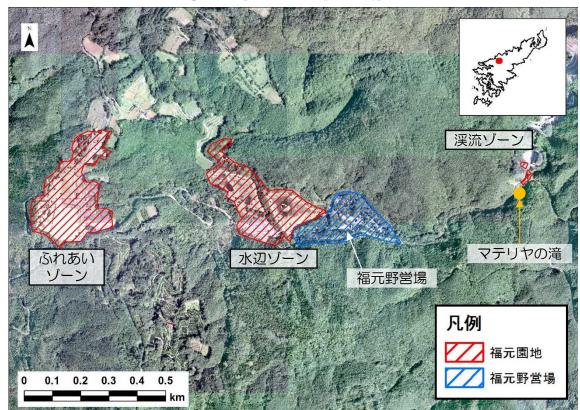






- 奄美大島地域の中北部にある福元盆地に位置する。大和村大棚から大棚湯湾線道路(車道) に入り8.0km進んだところにある。
- 周辺の自然環境は、照葉樹の二次林であるが、住用川の源流部の50~80年生の比較的高齢の照葉樹林と接しており、アマミノクロウサギ、ケナガネズミやオットンガエルなどの希少で固有な動物を多く見ることができる地域である。

福元園地 区域図





- 福元園地は、森林の中での自然体験学習やスポーツ合宿など自然とのふれあいができる施設「フォレストポリス」として大和村が整備した。
- 園地は3つのゾーンからなり、フィールドアスレチックなどで遊べる「ふれあいゾーン」、池や広場で昆虫や水棲動物などの生き物に会える「水辺のゾーン」、マテリヤの滝を中心とした「渓流ゾーン」がある。
- キャンプ場も併設しており、自然体験施設として重要な拠点となっている。







滝入口広場

既存施設の把握(園地、歩道、標識等)

執行者:環境省、大和村 (予定)

「ふれあいゾーン」 多目的広場はスポーツ合宿や地域住民のレクリエーションの場として利用され、平成 30年度の利用者数は、1.8万人である。









「水辺ゾーン」 広々とした開放的な空間にいくつもの池や湿 地がある。希少な水棲昆虫も生息しており、 動植物を保全する上でも重要な場所である。

「渓流ゾーン」

観光資源であるマテリヤの滝があり、多くの観光客が訪れている。入口広場には、環境省が整備したエントランス標識がある。





自然環境への影響

● 現時点では既存施設を把握するのみで自然環境への影響はないが、今後、施設改修を実施する際には、改変面積や支障木の伐採を必要最小限とし、周囲の自然環境に風致上支障のないよう配慮した手法で実施する。

奄美群島国立公園 高知山園地



区域面積:1.7ha

執 行 者:瀬戸内町(予定)

第2種特別地域(公有地(瀬戸内町))



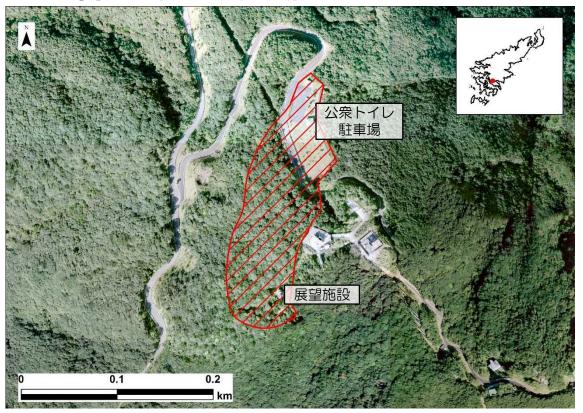


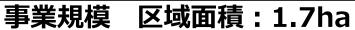




- 奄美大島の南部にある高知山に位置し、瀬戸内町古仁屋市街地から国道58号線を地蔵トンネル手前から町 道に入り4.7km進んだところにある。
- 奄美大島本島と加計呂麻島の間にある大島海峡を一望できることから、展望所として多くの利用者が訪れている。
- 山頂はテレビ等の中継アンテナが林立しているが、周囲はスダジイを主体とした亜熱帯照葉樹林でアマミ ノクロウサギなどの希少で固有な動物が多く見られる。

高知山園地 区域図





- 本園地は、奄美大島本島と加計呂麻島の間にある大島海峡が一望できる ため、眺望地としてもっぱら利用されている。
- 本園地の道路沿いの駐車場、トイレ、広場、展望施設まで続く遊歩道等 は全て瀬戸内町が整備を行っている。
- 展望施設からの眺望を目的に訪れる利用者も多く、国立公園の利用拠点 となっている。







既存施設の把握(園地、歩道、駐車場等)

執行者:瀬戸内町(予定)



- 奄美大島本島と加計呂麻島の間にある大島海峡が一望できるため、 眺望地としてもっぱら利用されている。平成30年度の利用者数は 2.7万人である。
- 本園地の道路沿いの駐車場、トイレ、広場、展望施設まで続く遊歩道等は全て瀬戸内町が整備を行っている。













自然環境への影響

● 現時点では既存施設の把握のみで自然環境への影響はないが、今後、施設改修を 実施する際には、改変面積や支障木の伐採を必要最小限とし、周囲の自然環境に 風致上支障のないよう配慮した手法で実施する。

奄美群島国立公園 中西公園園地



区域面積:1.5ha

執行者:喜界町(予定)

第1種特別地域(公有地(喜界町))

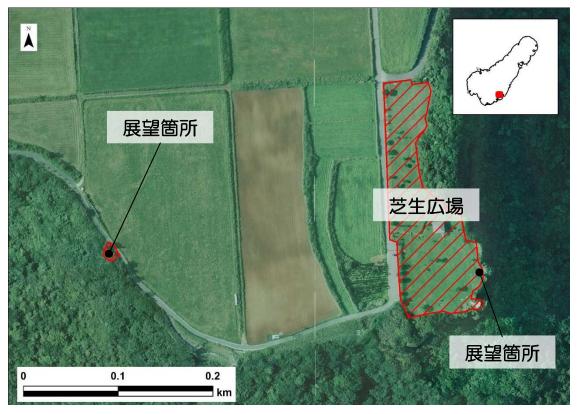






- 中西公園園地は、奄美群島国立公園喜界島地域にあり、隆起珊瑚礁段丘である百之台の南端 に位置している。
- 園地からの展望は段丘斜面、平地の耕作地、防風林に囲まれた集落や隆起サンゴ礁海岸を一望することができる。
- 園地は、利用拠点である百之台公園に向かう途中にある興味地点となっている。

中西公園園地 区域図





園地からの眺望



園地からの眺望

事業規模 区域面積1.5ha

- 中西公園園地内にある丘からは、平地の集落や隆起サンゴ礁海岸を一望でき、島の地形形成を理解することができる。また、広々とした芝生広場は、家族連れの野外遊びの利用がある。公園利用上重要な箇所であることから事業決定するもの。
- 芝生広場と展望箇所2つを中心とした園地であり、その管理範囲を事業決定規模とする。

既存施設の把握(園地、標識等)

執行者:喜界町(予定)

・喜界町が整備した園地である。園地からの眺望や芝生広場の野外遊びを中心とした利用であり、既存の施設は少ない。













自然環境への影響

● 現時点では既存施設の把握のみで自然環境への影響はないが、今後整備を実施する際には、改変面積や支障木の伐採を必要最小限とし、周囲の自然環境に風致上 支障のないよう配慮した手法で実施する。

奄美群島国立公園 福元野営場

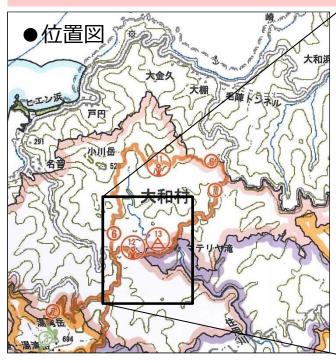


区域面積: 4.0ha

最大宿泊者数:174人/日

執 行 者:大和村(予定)

第1種特別地域(公有地(大和村))



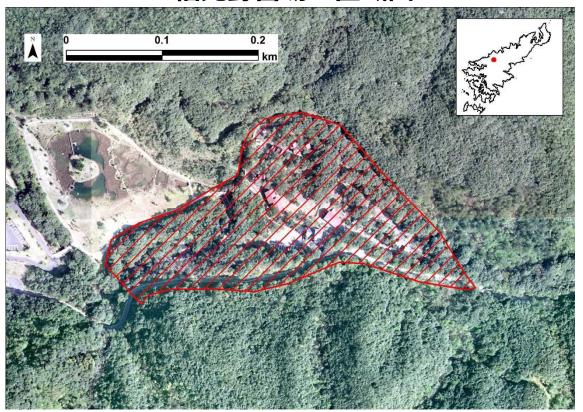






- 奄美大島地域の中北部にある福元盆地に位置する。大和村大棚から大棚湯湾線道路(車道) に入り8.0km進んだところにある。
- 周辺の自然環境は、照葉樹の二次林であるが、住用川の源流部の50~80年生の比較的高齢の照葉樹林と接しており、アマミノクロウサギ、ケナガネズミやオットンガエルなどの希少で固有な動物が多く見られる地域である。

福元野営場 区域図





- 本野営場は、森林の中での自然体験学習やスポーツ合宿など自然とのふれあいができる施設として大和村が整備した「フォレストポリス」内にある。
- 野営場は、キャンプサイトやバンガローが整備され、自然との ふれあいを目的に多くの利用があり、自然体験施設として重要 な拠点となっている。







執行者:大和村(予定)

既存施設の把握(野営場)

野営場には、バンガローが5棟、オートキャンプサイトが8サイト、キャンプサイトが14サイト整備されている。



自然環境への影響

バンガローサイト

● 現時点では既存施設の把握のみで自然環境への影響はないが、今後道路改修等を 実施する際には、改変面積や支障木の伐採を必要最小限とし、周囲の自然環境に 風致上支障のないよう配慮した手法で実施する。